

令和元年度第 1 回市川町総合戦略会議（要旨）

会議名	第 1 回市川町総合戦略会議
開催日時	令和元年 6 月 26 日(水) 午後 1 時 25 分～午後 3 時 25 分
開催場所	市川町役場 4 階相談室
出席者	委員：福田太志、前田宣博、小橋浩一、小野康裕、岩木和子、 長尾克洋、吉澤幹夫（代理）、村田敏朗、村上和男、北尾政憲、 木村重己、澤田克彦 町：藤原副町長、内藤企画政策課長、広畑地域振興課長、 藤後企画政策課課長補佐
会議の議題	1 開会 2 あいさつ 資料確認 3 出席者紹介 4 委員長、副委員長の選任について 委員長：小野康裕 副委員長：福田太志 5 協議 (1) 転出者アンケート集計について (2) 平成 30 年度実施事業及び令和元年度事業内容等について (3) 「市川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」見直しに係る今後の予定 6 閉会
会議資料	【事前配布分】 会議次第、総合戦略進捗管理シート（K P I 用・事業費用）、転出者アンケート集計、チラシ等（第 3 回市川町ゴルフまつり、縁結びスウィートパーティ） 【当日配布分】 令和元年度市川町総合戦略会議委員名簿、座席表、総合戦略会議設置要綱、当日資料一式（平成 30 年度転出先一覧、新聞記事（写し）、遊具写真、次期総合戦略見直しスケジュール、市川町総合戦略推進体制）、封筒（市川町まち・ひと・しごと創生総合戦略見直しシート等）
協議事務局	(1) 転出者アンケート集計について 前回の総合戦略会議において、転出先がどうなっているのか分析してはどうか、という意見があった →2018 年市川町からの転出先一覧を配布 県内：最も多いのは姫路市で 112 人、続いて福崎町 39 人、神戸市 24 人、神河町 18 人

	<p> 県外：大阪府 25 人、東京都 13 人、京都府 7 人 転出者アンケート集計 2017 年 12 月～2019 年 5 月 計 100 人が回答 年代別では 20 代が最も多く、居住年数は 20 年以上の方が最も多い。 転出理由：20 代男性の就職、20 代女性の結婚、就職 が多い。 市川町が住みやすいと感じる点 自然環境が豊か、生まれ育った土地、安全安心な場所 市川町が住みにくいと感じる点 買い物をする店が少ない・遠い、交通の便が悪い、仕事がない 市川町の居住者を増やすために、今後どのような施策に取り組みばいいと思うか。 出産や子育て等に対する各種支援の充実、、バスなどの町内の交通の利便性充実、教育環境の充実、転入者が住宅を新築・改築する際の費用補助 (2) 平成 30 年度実施事業及び令和元年度事業内容等について 総合戦略進捗管理シートについて説明 No.2 ゴルフクラブ製造業者と連携した商品開発、イベント開催 新規取引業者数が 11 件で、これまでで最も多い。第 3 回ゴルフまつりチラシ、夕刊読売新聞記事（藤本技工）参照。 今年度はゴルフアイアン発祥の地 P R 拠点整備事業の調査設計を行うにあたり、7 月にプロポーザルを実施予定。 No.3 観光交流センターを拠点とした開発・販路拡大・PR 支援事業 今年度は、観光協会の新たな取り組みとして「まちの駅プロジェクト」を実施。6 月末現在で 4 箇所看板設置完了。 No.5 創業支援事業 平成 30 年度実績 4 件：勢瀬賀の里（飲食業）、くらしのおと（農泊）、広和の請負先（産業部品組み立て業・事務委託）、社労士（創業支援事業補助金は受けていない） No.10 農業体験イベント・教室等の開催 笠形オーガニックが様々なイベントを実施。3/1 に MBS ラジオの公募で市川町へのバスツアーがあり、笠形オーガニックの協力を得てキムチ作り体験を行った。 No.12 遊休地を活用した新たな農産物栽培と農業振興 鶴居地域活性化協議会でさつまいも、下岡でレンコンとニンニク、笠形オーガニックでマチコネギなどの様々な野菜を栽培し、ホテルオークラなどで積極的に P R。神戸新聞記事参照。 No.18 空き家、古民家利用施策の推進 30 年度 H P 掲載分の空き家契約は 12 件、28 名。 </p>
--	--

委員	<p>姫路市 4 件 12 名、明石市 1 件 3 名、長野県 1 件 3 名、神戸市 1 件 1 名、福崎町 1 件 1 名、町内 3 件 8 名、町内企業 1 社。</p> <p>No.20 ホームページの充実 今年度、ホームページをリニューアル予定。スマホ対応とインターネットを活用したプリントサービスの導入。</p> <p>No.22 町花「ひまわり」などのどかな風景を活かした四季の彩創出 30 年度は 10 団体の協力を得てひまわり畑を創出。瀬加小学校がルビーエクリプスという品種を栽培。今年度は 7 団体によるひまわり畑の創出と 4 小中学校でロシアひまわりを栽培。</p> <p>No.24 若者向け住宅取得支援 30 年度実績は 19 件、当要綱は今年度末までとなっているため今後検討する必要がある。</p> <p>No.26 個性的な婚活事業の支援・開催 30 年度は 12 月にはヨガ体験、3 月にはクレープ作りを組み込んだ婚活イベントを実施。3 月婚活イベントちらし参照。</p> <p>No.27 自然環境などを活かした遊具等の整備 30 年度はリフレッシュパーク市川、スポーツセンター、こども広場の遊具整備を実施。遊具の写真資料参照。 前回の総合戦略会議で、閉所閉園する保育所や幼稚園の遊具について地域で希望調査をしてはどうか、という意見があった。 →優先順位（こども園、小中学校、地元）をつけて希望調査は行う予定。 移設費用はかかる。</p> <p>No.38 公共交通の拡大 75 歳以上の方に無料乗車券を交付(コミバス 109 人、買い物バス 111 人)。明日地域公共交通会議を開催し、運行ルートの見直し、停留所の新設、無料乗車券交付の拡大等について協議するので、次回の会議で見直し内容について報告する。</p> <p>No.39 駅施設の環境改善 30 年度は基本構想を策定。今年度と来年度で基本計画を策定する予定。</p> <p>No.45・46 連携事業 30 年度 10 月より福崎町と連携した連携コミバスの運行を実施。 郵便局との連携協定を締結し、配達時に気づいた情報を町に寄せてもらう。神戸新聞記事参照。</p> <p>～質疑応答～ 転出先について、姫路や神戸へ転出するのは仕方がない要因があること、福崎町は姫路市に近いということ、交通の便がいいということはあると思うが、どちらかというとな不便になるような神河町に転出される方がいらっ</p>
----	---

<p>委員長</p>	<p>しゃるとするのは、市川町と神河町の町の政策、対策の違いの表れとも考えられる。神河町は危機感を持って、人口減やにぎわいの創出に取り組んでいることがよく分かる。神河町がされていることを参考にしながら、真似をするわけではなく、もし同様のことに取り組まれるのであれば市川町なりの工夫や違いを出してはどうか。神河町、福崎町であれば、転出しなくても通勤なり生活はしていけると思うので、もう一度考えていただく必要があるのではないかと思う。</p> <p>アンケートの中にはまだ分からない部分もあって、福崎町に転出される方は、長男が家を継がずに福崎町に家建てられるというパターンがあるのかなと想像する。となると、市川町は将来空き家になり、本家が福崎町へ移るといことが十分考えられる。前々からこの会議でも話が出ているように、14番の農林業の経営基盤の強化ということで農振の見直しをされ、今年の事業はなし、となっているが、どこを優良農地にしてどこを住宅地にするのか、もっと真剣に見つめないといこの傾向は強くなるのではないかと感じる。</p> <p>また、17番のひまわりコート千原や東川辺の分譲について、行政では限界があると思うので、民間の力をどこまで確保するのがポイント。前に話したが、ひまわりコート千原の周辺にある空き家についても手放したいという話を聞くので、その一帯を含めて民間への紹介やつなぎに行政としてももう少し取り組まれたら、優良農地をつぶさなくても可能な土地が市川町でも得られるのではないか。個人的にはチームを組んで相当集中して取り組まなければいけないと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>これまで、近くに家を建てたいが農地の関係で建てられないという話をよく聞いていたが、見直しでマックスバリュ周辺は農振から除外したと聞いている。</p>
<p>地域振興課長</p>	<p>28年・29年の見直しの中では、エリアをしぼって、甘地駅周辺、役場周辺、マックスバリュから市川南インター周辺などについては、重点的に除外するという方向での見直しを行った。</p>
<p>委員 委員長 委員</p>	<p>神河町は建てられる土地が多いのか。 神河町は折り込み広告がよく入っている。 土地の評価額も神河町の方が安いのかもしれないが。 (事務局：後日国道312沿いの評価額を比べると神河町の方が高かったが、甘地駅周辺と寺前駅周辺を比べると甘地駅周辺の方が高かった。)</p>
<p>委員長</p>	<p>跡取りが家を福崎町に建てることの要因の1つに学校のこともある。ある程度人数のいるところでしっかりした教育を受けさせたい、という意識が保護者の方々に強いと、そこをうまく展開しないと何もならないことになる。住宅施策だけではなく、横のつながりを持って、相当戦略を持って取り組まないといけない。</p>

副町長	<p>学校の教育について話が出たが、生徒数の問題に関して、町の方針としては1町1中学校を打ち出しており、地域の合意形成等含めて話を進めている。部活の問題も含めて、保護者や生徒からの希望も聞いているので、これについては方針どおり進めていく。</p> <p>住宅施策について、千原と東川辺については、内部で協議をした結果、町が造成して販売してくということになった。先ほどおっしゃったように、民間の力を活用していかないと、町が土地を売るのは難しいという現実には直面している。今後PRも含めて民間業者を活用した方向で、取り組んでいきたい。</p>
副委員長	<p>市川町では空き家バンクに取り組んでおられ、200万円まで改修費が出るということを知っているが、空き家バンクに入ってくる人はほとんどが60代、70代の人であり、何年かするとまた同じように空き家になってしまう。同じお金を使うのであれば、若い人に入ってもらえるような方向性を持たしていけばいいのではないかと。</p>
副町長	<p>空き家バンクについて高齢者が入ってはまた空き家になるというご意見をいただいたが、ただ、若者に対する助成というのもしているところ。神河町と比べると金額的に差はあるが、夫婦の年齢合計が80歳までの移住された方への住宅取得の助成制度もあるが、PRについても問題があるかと思うので今後PRにも重点を置いていきたい。</p>
委員長	<p>5年目ということで、過去のまとめもしなければいけないのかなと思うが、今の流れの中で感じるのは、誰に来てもらいたいのかははっきり示していない、市川町がどんな町を目指しているのかははっきりと見えない、近隣の町と何が違うのかよく分からない、これを打ち出していくことが必要ではないか。自治体間の競争に走ってしまえば、財政規模の一番小さい町が行きつくところは目に見えているので、順位をつけて1つずつやらないと、まんべんなくやっていくというのは将来あると思えない。</p>
委員	<p>県全体としても社会減は大きな問題であり、個別の市町の取り組みを見ていると、1点集中でしているところが賑わっているという注目をされている。例えば明石市は、子育て支援に力を入れており、無料化とかはお金がかかるが、市長は子育て世代に手厚い措置をしていくということをやっていると。中核市を目指しながら、子どもセンターも建設して、とにかく子どもの問題に1点集中して取り組むという姿勢が見えている。そして今、神戸市西区から明石市に移る、という現象が起こっている。また、神河町についての話も出たが、神河町長と話すと、リゾート開発もされているが、とにかく人に来てもらう、ということをあちこちで言われている。もちろん住民への施策も必要であるが、とにかく人に来てもらう、人が来ると賑わって、神河町から出た人も神河町出身だということ胸を張って言える。このように、これだ、というところがあるところが注</p>

	<p>目されている。行政としてすべき施策はしなければならないので、外すことはできないと思うが、先ほど副委員長が言われたように、ここを重点的にするという打ち出し、打ち出し方が大切ではないか。それを掲げてやっていけば、動いているな、市川町がんばっているな、ということが周りから分かる。それが大事だと思う。</p> <p>アンケートでも出て行って、また帰って来たいというのがあったが、出ていった先でどう思うか。市川町出身であることを堂々と言えるかどうか。帰ってくる人が帰ってきやすい何かがあれば、住んでいる人も誇りを持って、子どもたちも将来出て行っても帰って来ようか、というふうになっていくのではないかと感じた。</p>
<p>委員</p> <p>事務局副町長</p>	<p>質問があるが、福崎町から市川町へ、神河町から市川町へ何人入ってきたのか、それは分かるのか。</p> <p>今すぐには分からないが、調べると分かるので後日お送りする。</p> <p>人口流出の関係で一言だけ。どうしても南へという流れはある。都市部へ向かっているという傾向はあるが、逆のパターンもある。線の太さがどれくらいか、というのが課題だと思うので、我々としてもその線の太さを勘案しながら、先ほど出たように1点集中突破でいくのか、も含めて今後の参考にさせていただきたい。</p>
<p>委員</p> <p>委員</p>	<p>先ほどから出ている神河町と、交流人口を比較すると、市川町は少ないと思う。加西市役所まちづくり協議会が、10月20日にサイクルイベントをされる。これは200人だけの募集であるが、鶉野飛行場が道の駅になるための補助金が3年間あるので3年間は継続する、ただ人気があればずっと継続したいとおっしゃっている。市川町は市川マラソンはあるが、他のスポーツイベントとか、町外のお客さんが参加できるようなスポーツイベントができないかと強く思う。</p> <p>転入転出のことが出ているが、神河町と子育てのことで関わっている関係で、保護者たちの会話を聞いていると、情報交換が非常に多い。例えば、せつかくこども園ができたが、神河町の幼稚園は25名定員。4歳・5歳の2年保育で、26名になると2クラスになって13名・13名になる。私が現職でいた頃から神河町は25名定員、当時市川町は35名定員だった。市川町では26名いても1クラスで、補助が必要な時は補助員を入れてもらったりもしたが、親たちはそういうところもしっかりと見ている。そして、9時半から11時半まで教室にいた親たちが解散した後に行けるところがある。保健福祉センターの中にある施設で、お弁当を食べることができ、暑さ寒さをしのげて、小さい子は昼寝もできるような、1日過ごせるようになっている。そういうところで親たちの交流、子どもたちの遊ばせ方も学んで、きらきら館という施設も利用している。市川町から行っている方がおられたので聞いてみると、子育てがしやすいこと、母子家庭の施設があ</p>

	<p>ることを話された。中学校・高校になっても、若干金額は上がるが住めるので、住みやすいと言われているということを知った。そういうことも要因にあるのではないかと。</p> <p>遊具が3ヶ所にできて、私も孫を連れて行って見たが、親子連れが本当に楽しそうに遊んでいる。リフレッシュパーク市川の場合はドームや木陰があるので涼みやすいし、おじいちゃん、おばあちゃんも連れて来られていた。すばらしい施設ができた、という言葉も聞こえ、私自身も孫たちが楽しく遊んでいる姿を見て嬉しかった。そのためには安全安心な場所であるように、今後は遊具の点検も必要になってくると思う。あと、ドームに自転車を持ちこんで乗っている子やキャッチボールをしている子がいて、親たちはテーブルで飲食をしている。ほかの子どもがいたときに危ないので、安全面に配慮した張り紙をしていただきたい。また、遊具から向こうの山道へ歩いて入ることができるので、その道の整備をしていただかないと危ないという話をした。</p> <p>ゴルフまつりに、息子が友人たちと参加して、すごく楽しかった、小さい子から大人まで楽しめるイベントだった、と話していた。姫路から来た人は、せっかくゴルフアイアンの発祥の地なのだから、もっとPRしたらいいのに、ということを知っており、その点は工夫をすべきだなと思った。彼らは来年も参加したい、と言っていた。</p>
<p>委員長</p>	<p>かゆいところに手が届くご意見だったと思う。子育て世代のお母さん方の情報交換網は本当にすごいですね。大阪の天王寺区のホームレスがテントを張っていた一帯を芝生公園にしたら、親子連れがどんどんやってくるがらっと雰囲気が変わっている。行政中心に物事を考えると規制ばかりになってしまうが、コンサルが入ると随分違うものができることがある。コンサルが入って逆にやりにくいことや、お金だけがかかることもあるが。ドームに関しても人が増えているという話は聞くので、もう一歩かなと思う。</p> <p>商工の関係で、先ほどゴルフまつりの話も出て、ゴルフアイアン発祥の地ということで商工会でも取り組みもありますし、創業支援のところもありますし、これからの市川町の創業・商業・工業について、非常に厳しいと思うがそれについて何かご意見は。</p>
<p>委員</p>	<p>4月に市川町に来て、多分この先廃業していきだろな、という事業所が非常に多い、と感じた。実態調査はまだしていないので数字は把握していないが、調査の必要はあると思った。商工会としても国、県で出ている事業所向け支援の方に今年度から舵を切り始めた。創業支援は町の施策としてあるので、以前福崎町で働いているときは、創業の時に助成が出るということで非常にうらやましく思っていた。資金調達で支援してもらえるのは、創業する方にとっては非常にありがたいことだと思う。創業の単年度</p>

	<p>の件数が出ているが、一般的に創業してから3年が目途と言われており、その中で力尽きていくところも多い。創業の傾向としては小さな事業が多い。全国的に育成する場というところでインキュベーション施設というのが数年前からある。兵庫県では、平成30年度までは神戸市と姫路市にあった。創業の方々を増やすのか、廃業を止めることはできないが、事業承継を迷っているところがあれば、事業継続が難しいということなので、それを見極めるお手伝いはできるかと思う。</p> <p>私が福崎町に勤めている頃、同年代の方々とよく話をしていたが、住むところを選ぶ一番の要因は子どもの教育環境だと思う。自分だけであれば多少遠くても通勤はできる。福崎町は子どもの医療費が無料というのが目玉だったので、姫路市に住む私としてはうらやましかった。業種によってはこの先の廃業を食い止められないものもある。ただ、そういう事業所でも転換するタイミングがあると思うので、事業の見直しをして新たに組み込む経営革新の計画を策定するなどの手助けは商工会としても行うが、早い段階から、学生のころから町外に出るという選択をしている方が多いと思った。</p> <p>地場産業はゴルフであるが、基幹産業（地元で一番割合の高い産業）に対しての支援、施策はできないか、と思う。商工会としても何かできないかと考えている。商工会では金属加工関係、建設関係の占めるウェイトが大きいと思う。建設関係では大工とか一人親方などの方も多いので、そういう方に対しても何かできないかと考えている。町の産業振興に沿いながら商工会で事業を進めていくが、商工会としても中期計画を立てるので、次の総合戦略では町と両輪になりながらできることを考えていきたい。</p> <p>産業構造もそうであるが、時代で淘汰される産業があるので、それは食い止めようがない。そのウェイトが市川町は高い可能性があるということで、その転換をどうやってするのかということ、市川町にどういう人が来てほしいのかということ、それを挙げないと誰も見てくれないと思う。何を挙げるのか、それを考えなければいけない。神河町はそれをはっきりと打ち出しているので、空き家に商いをされる人が入って来られている。これが将来的にも続いていくかどうかは分からないが、ある程度産業構造にしても空き家にしても土地政策にしても、来てほしい人に手を上げる必要がある。それが成功しているのが神山町で、今度高専までできるような話になっている。市川町に行くところ、こういうことができる、こんな人に来てくださって、言っているということが見えることが必要だと感じる。</p> <p>20歳で就職をしようとしたときに、連合の企業で働くことに対する若い人たちのニーズも影響して、例えば福利厚生が整った企業がいいとか、休暇がほしい、なおかつ給料も高いところがいいとか、大手企業にしてもなかなか人を集められない状況の中、若い人たちがアンテナを張って生活を</p>
委員長	
委員	

	<p>している。いかに市川町の中で仕事をして過ごしていけるのか、ということからすれば、土地も整備しながら誘致できれば、その周りに住宅が建って通勤がしやすく、またスーパーもできる。まちづくりのような長期的な目線で考える必要もあるのではないか。先ほど、どんな人に来ていただきたいかという話もあったが、新たな産業を興す努力もしてはどうかと思う。ただ、先ほど福崎町や姫路市に大勢転出しているという話があったが、私からすれば十分に通勤圏内であるのに、なぜそこに移動するのかなという印象。委員長の話にあったように、子どもが福崎町に家を建てるという話があったように、アンケートの背景というか、もう少し深く掘り下げた調査をしながら、市川町で何ができるのか検討することも必要ではないか。人口移動は長期的に動くので、福崎町がずっと育っていったときに、市川町に家を建てるといいという大きなサイクル目線も必要だと感じた。</p>
委員長	<p>連合もいろんな組合が集まっている。連合姫路地協で3万人弱の組合員を抱えており、労働団体、行政、経団連と連携の場を姫路でやっているの、情報交換をすれば情報が入って一つの検討材料が生まれたり、広報不足であれば広報ができたりということもある。</p> <p>姫路の通勤圏の町なので、姫路で働いてここに住んでいただくのは1つの方法であると思うが、播但沿線活性化協議会の立場からすると、福崎で止まる電車があるというのは一つのハードル。乗車率を上げていくことについても、電車で姫路まで行けたとしても、姫路駅から会社へどうやって行くのかという問題が解決しないと、播但線の乗車率につながっていかない。ここらは複合的なことであり、市川町だけでどうこうということはないが、アピールの仕方というところで連合の方にもお世話になって、空き家の紹介や通勤すればこういうメリットがある、という意見交換が大事になってくる。</p>
委員	<p>センター長、県の方でこうしたところの動きは？</p> <p>県の中でも2030年の展望を定めて、新たに地域創生の戦略を練り直しているところ。今いただいている意見というのは、市川町を兵庫県に置き換えたのと同じ課題。大阪や東京に流れる社会的な人口移動をどう戻すのか、どう食い止めるのか、神戸市ですら社会減なので、市川町の計画でいい案ができれば兵庫県でも使えるな、と思っている。課題は県全体としても同じなので、隣町がどうかということではなく、視野を広げることが必要であり、そういったところで県も協力していきたい。</p>
委員長	<p>何か魅力は要ると皆さん思われていると思う。サイクルイベントができないか、というご意見があったが、サイクルイベントだけで考えると新しいものをまた一つ始めるのか、どこの課がするのか、予算はどうするのか、ということになる。例えば、ひまわりを植えるのであれば、ひまわりの咲いているコースをサイクリングするレースに組むなど、そういうところで</p>

	<p>予算を創出したり、観光協会がされている「まちの駅」を組み合わせたサイクルイベントを考えたり。サイクリングは国土交通省から県に予算もおりてきて、自転車専用道整備の予算がつくようになっていたので、そこをうまく使えばサイクリングロードの整備やサイクルイベント、イベントの盛り上がりがあるとサイクリングロード整備の費用も取ることが出来るのかなと思う。1つ1つの課ではできないので、複合的に、横に渡るチームが必要だと感じる。</p>
委員	<p>郵便局の金融機関の立場として、地元にしかりと入っていらっしゃると思うので、日頃から感じておられることをお伺いしたい。</p> <p>屋形の郵便局に来て約10年になるが、始めの頃はお客さんも多く忙しい局のイメージもあったが、10年経った今では若い人も少なくお客さんも減っている。鶴居の方では食べ物を扱う店もなくなり、バス停まで長い道のりを歩いてバスに乗って買い物に行っている、歩ける間がいいが、だんだん歩くのも大変になるので、できれば近くにお店ができれば、と話されるお客さんもいる。コンビニも遠いので、コピーをとるのも、少しでもあればこちらでサービスするが、多ければ神河町の方へ5キロ行くか、川辺の方へ5キロ行くかしかない。運転免許証の返納の話をよく聞くが、市川町では85歳くらいの方も車に乗られているが、この先のことを考えると、最低地区ごとに買い物ができる店が必要ではないかと思う。</p>
委員長	<p>買い物は本当に大きな問題。福崎町の方にまた大型スーパーがオープンするので、市川町のマックスバリュがいつまであるのか懸念されるし、大きな問題になってくるのではないかと思う。</p>
委員	<p>今日初めてこの会議に参加して、皆さんが本当に市川町のことを考えてくださっているのだな、ということに感謝を申し上げたい。議会としてもここまで熱心に議論したことはない。我々議会人として、大勢の人からいろんな意見を聞かされるので、それをしっかりと受け止め、議会の中で提言し、がんばっていきたいと思う。</p>
委員 地域振興課長	<p>農林業の経営基盤の強化について、オーガニックタウンを目指している農業者の増減はどうなっているのか。</p> <p>笠形オーガニックの取り組みを始めて3年になるが、毎年1世帯ずつの移住就農となっている。元来どんどん移住してくることを想定しておらず、35年も前から有機農業をされている牛尾武博さんがおられるので、その方に教えてもらって有機農業をしたいという人が、これまでに5件ほど先に移住されている。そういう先輩方が充実している中で勉強できる、取り組める、という環境が整っていることを売りにして、過疎化が進み農地を担う人が減っている地域を、オーガニックを看板にして盛り上げていけたらと思っている。笠形オーガニックという名前も少しずつ浸透してきている。これまで生産されたものについても認知されつつあるし、そのための努力</p>

	<p>もしている。少しずつでもそういう流れがあるので、今後も続けていきたいと思う。</p> <p>村田委員も取り組まれている GAP（農業生産工程管理）を成功させていただいて、それをモデル事例にして後に続く人があればいいなと思う。笠形オーガニックは上牛尾の一地域で取り組んでいるが、オーガニックについては東京オリンピックの関係もありニーズはどんどん広がりつつあるので、期待はできるのかなと思う。無農薬や化学肥料を使わないなど、そういう取り組みをしていくことによって、ある一定の活路は見いだせるのではないかと思う。よく言われる「もうかる農業」に直結するかということなかなか難しい面もあるが、農業の1つの方法として今後も続けていいのではないかと考えている。</p>
<p>委員 地域振興課長</p>	<p>オーガニックの講習会には何人来ているのか。</p> <p>春期講習会 10 回コースには 5 名。大阪から夫婦と一人、神河町から一人、町内から一人。</p>
<p>委員</p>	<p>もう少し大勢来てくれたら、情報交換もできて活性化すると思う。予算をつけてニンニクとかネギとか取り組むのは分かるが、もう少し突っ込んでする方が市川町の特徴が出るのではないか。</p>
<p>委員長</p>	<p>農業は基幹産業でもあると思う。「もうかる農業」というが、農業がもうかるのであればもっと皆がしている、もうからないからやめるのであって、基本的にはもうからない。農家を支援するのか、農業を支援するのか、農業組織体を支援するのか、明確にしないと、ごちゃ混ぜになって予算を使うだけになってしまう。基幹産業であれば、どうやって稼ぐのか、どうやって農地を維持するのか、これは別の問題であるのではっきり分けないとおかしいことになってしまう。</p> <p>私の方からもう1つ気になるのは、今年度から甘地・鶴居駅前の基本計画に着手するという事で、前の田中センター長からも話があったように、トイレだけであれば先に直せるのではないか、そういうところをもう少し考えてほしい。福崎駅前の改修は大きなインパクトになるので、いよいよ市川町から福崎町へ移住する人が増える1つの境目になる。そういう意味でも、せめてトイレだけ予算をつけて、今の時代に合ったトイレに改修をしていただいて、その中で県にもお世話になりながら、何年かの計画を立てていただきたい。あと、区長会や我々なごやか甘地地域づくりの会にご相談いただいたが、将来の駅前を考えるのであれば、若い人の意見も聞いてほしいと思う。年配者と若い人たちの折衷策は難しいかもしれないが、思い切った考え方、新しい考え方が必要だと思うし、コストのかからない、維持費のかからない改修をしてほしいと思う。このへんの進み具合はいかがか？</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>昨年度基本構想ということでランドデザインを描き、そのときに団体</p>

	<p>単位ではあるが地元の人意見を聞き、駅利用者のアンケートを取り、今何が必要なか、改善すべきところなどが見えてきている。甘地駅、鶴居駅とも、トイレが汚い、使えない、改善してほしい、という意見が最も多い。まずそこから手掛けることはできると思うので、そこから進めていきたいと思う。合わせて今年度から駅周辺の基本計画を策定していくので、若者の意見を聞いていきたい。昨年度は若者の意見は聞いておらず、市川高校生にはアンケートをとったが、駅を利用するのに不便な点などに意見が集中していた。今回は子どもや中学生に意見を聞いていきたい、それも基本計画に入れていきたいと思っている。</p>
<p>委員長</p>	<p>よろしくお願いします。余談になるが、姫路駅前の芝生広場を作るときは、大手前まちづくり協議会のメンバーになっており、芝生広場に自由に入ってもらって使えるようにする、というコンサルの話があり、芝生の上を人が歩いてどう管理するのか尋ねても「できます」の一点張りであった。で結局今は綱を貼って半分ずつ使っている。コンサルの意見も大事であり、新しい意見も大事であるが、コンサルだけではそういうことが起きる。今度大手前通りも、パリのシャンゼリゼ通りを模して、対面にお店が出せるようにするが、市民の意見としては和風がいい、という意見が多かったり、実際とコンサルが出す意見との違いが、現実にはたくさん起きている。甘地駅のようなコンパクトなところなので、できるだけ応用のきく改修をしてほしいし、スピードがほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>3番の観光交流センターの利用客数について、現状をお話すると1日平均10人ほど。年間5,000人以上は来られていると思うので、ここは目標を大きく上回っている。</p> <p>あと、ゴルフの拠点整備について、観光交流センターの改築という話を耳にするが、公にできる話があれば聞かせてほしい。</p>
<p>地域振興課長</p>	<p>ゴルフアイアン発祥の地の情報発信拠点の整備について、どこにするのかは非常に重要なこと。一般的に考えると、アクセスもいいところということで、駅周辺になるのか、播但道のランプ周辺になるのか。駅周辺についてはこれから計画を作って整備を進めていくところで、できるだけ早いタイミングでこれに取り掛かりたいということもある。また観光交流センターも、観光交流センターとしての機能を十分備えたものではない。その充実とゴルフアイアン発祥の地情報発信拠点の整備とを合わせて行くことがより効率的で、1箇所になると運営面でも効率がいいので、そこをメインには考えているところ。これからその点についても詰めていき、プロポーザルという形で進めていきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>今課長から拠点をどこに、という話が出たが、私の個人的な意見を申し上げると、毎年ゴルフフェスを市川ゴルフでされているが、例えば、この一面をお借りして、物産の販売や観光案内のできる施設を作ってはどうか</p>

<p>委員長 副町長</p>	<p>か。たまたま甘地駅を下りたらゴルフの施設があった、ということではなく、毎年ゴルフフェスをされると思うので、隣接地にそういうものがあれば、例えばそこで試打できるようなアイアンがあると横の練習場に持ってきて打たせてもらうとか、使っていた機械を置いて施設に来た人にモニターで説明をすとか、好きな人が近くにいてずっと見られて、ということではないのかと考えた。民間の土地を借りるのは難しいのかもしれないが、検討いただけるのであれば検討していただきたい。</p> <p>賛成。是非ともよろしくお願ひしたい。</p> <p>場所については課長からも申し上げたように、観光交流センターのところを中心に考えているところであるが、プロポーザルに出す内容によって別の場所を提案されるようなことがあれば、そういうことも考えられる。我々の中では、今ある物を活用して、というコンセプトを持っているが、参考にさせていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>(3)「市川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」見直しに係る今後の予定 当日配布資料 次期総合戦略見直しスケジュールに基づき流れを説明</p> <p>「市川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の見直しについて 現在の総合戦略に掲げられた事業について、委員の方々に A：拡大、B：継続、C：縮小、D：廃止、E：見直しして継続、F：その他の判定をしていただくよう依頼。(7月10日まで)</p> <p>2 閉 会</p>